

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 2 月 25 日 (2021.2.25)

【公開番号】特開 2020-157122 (P2020-157122A)
 【公開日】令和 2 年 10 月 1 日 (2020.10.1)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-040
 【出願番号】特願 2020-112288 (P2020-112288)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 1 C

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 1 月 8 日 (2021.1.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技中に使用される遊技盤と、その遊技盤を受け入れ可能な側である一側が開放される内枠と、その内枠の前記一側を閉塞可能な正面枠と、を備え、

前記正面枠は、前記遊技盤と外部との間で連通される経路に配設される配設手段を備え

、

前記配設手段は、

前記遊技盤よりも下側において前記経路と交差するように配置される板状部と、

その板状部から下側に向けて延設される第 1 延設部と、

前記板状部から下側に向けて延設され前記第 1 延設部に対して対向配置される第 2 延設部と、を備え、

前記配設手段は、前記内枠が前記正面枠により閉塞されていない所定状態において視認され得よう構成されることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

基板ボックスを備えることを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

パチンコ機などの遊技機において、不正行為に対する不正防止を図るための手段を備える遊技機がある（特許文献 1）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

【特許文献 1】特開 2 0 1 6 - 2 6 5 7 3 号 公 報

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

しかしながら、上述した従来の遊技機では、不正防止の機能に改良の余地があるという問題点があった。本発明は、上記例示した問題点などを解決するためになされたものであり、不正防止の機能の良好な遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

この目的を達成するために請求項 1 記載の遊技機は、遊技中に使用される遊技盤と、その遊技盤を受け入れ可能な側である一側が開放される内枠と、その内枠の前記一侧を閉塞可能な正面枠と、を備え、前記正面枠は、前記遊技盤と外部との間で連通される経路に配設される配設手段を備え、前記配設手段は、前記遊技盤よりも下側において前記経路と交差するように配置される板状部と、その板状部から下側に向けて延設される第 1 延設部と、前記板状部から下側に向けて延設され前記第 1 延設部に対して対向配置される第 2 延設部と、を備え、前記配設手段は、前記内枠が前記正面枠により閉塞されていない所定状態において視認され得るよう構成される。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

請求項 2 記載の遊技機は、請求項 1 記載の遊技機において、基板ボックスを備える。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

請求項 1 記載の遊技機によれば、不正防止の機能を良好にすることができる。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

請求項 2 記載の遊技機によれば、請求項 1 記載の遊技機の奏する効果に加え、基板ボックスに基板を収容することができる。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】1 6 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【1626】

遊技機 A 1 から A 8 , B 1 から B 3 , C 1 から C 3 , D 1 から D 6 , E 1 から E 4 , F 1 から F 6 , G 1 から G 6 , H 1 から H 7 , I 1 から I 6 , J 1 から J 5 , K 1 から K 7 , L 1 から L 3 , M 1 から M 5 , N 1 から N 5 , O 1 から O 5 のいずれかにおいて、前記遊技機はパチンコ遊技機とスロットマシンとを融合させたものであることを特徴とする遊技機 Z 3。中でも、融合させた遊技機の基本構成としては、「複数の識別情報からなる識別情報列を動的表示した後に識別情報を確定表示する可変表示手段を備え、始動用操作手段（例えば操作レバー）の操作に起因して識別情報の変動が開始され、停止用操作手段（例えばストップボタン）の操作に起因して、或いは、所定時間経過することにより、識別情報の動的表示が停止され、その停止時の確定識別情報が特定識別情報であることを必要条件として、遊技者に有利な特別遊技状態を発生させる特別遊技状態発生手段とを備え、遊技媒体として球を使用すると共に、前記識別情報の動的表示の開始に際しては所定数の球を必要とし、特別遊技状態の発生に際しては多くの球が払い出されるように構成されている遊技機」となる。

<その他>

パチンコ機などの遊技機において、不正行為を防止する機能を備えた遊技機がある（例えば、特許文献 1：特開 2015-024179 号公報）。

しかしながら、上述した従来の遊技機では、不正行為を防止する機能に改良の余地があるという問題点があった。本技術的思想は、上記例示した問題点などを解決するためになされたものであり、不正行為を防止する機能の良好な遊技機を提供することを目的とする。

<手段>

この目的を達成するために技術的思想 1 の遊技機は、遊技領域へ発射された遊技球の内、発射装置へ向けて戻り流下するファール球が通過可能なファール球通路を備える遊技機において、そのファール球通路は、流下する遊技球の通過は許容すると共に逆流する物体の進行を妨害する一方向妨害手段を備える。

技術的思想 2 の遊技機は、技術的思想 1 記載の遊技機において、前記ファール球通路は、遊技球の流下経路を折り曲げる折曲部を備える。

技術的思想 3 の遊技機は、技術的思想 2 記載の遊技機において、前記折曲部は、折れ曲がりの内角側に、流下する遊技球に負荷を与えず、逆流する前記物体に負荷を与える負荷手段を備える。

<効果>

技術的思想 1 記載の遊技機によれば、不正行為を防止する機能を良好にすることができる。

技術的思想 2 記載の遊技機によれば、技術的思想 1 記載の遊技機の奏する効果に加え、流下経路の形状により、不正行為を防止する機能を良好にすることができる。

技術的思想 3 記載の遊技機によれば、技術的思想 2 記載の遊技機の奏する効果に加え、負荷手段により、不正行為を防止する機能を良好にすることができる。

<符号の説明>

1 0	パチンコ機（遊技機）
1 2	内枠（受入手段）
1 3	遊技盤（遊技手段）
1 4	正面枠（閉塞手段）
1 4 d 2	補助凸部（凹設部の一部）
1 7	上皿（受容皿の一部）
5 0	下皿（受容皿の一部）
6 8	戻り球防止部材（一方向妨害手段）
8 1	第 3 図柄表示装置（表示手段）
1 4 5 , 9 1 4 5 , 1 0 1 4 5	ファール球通路部（ファール球通路）

1 5 9	開閉規制部（閉塞規制部）
1 7 3	長尺カバー部材（解消手段の一部）
1 7 8	逆カップ部（配置手段の一部、第 1 手段、侵入規制部、解消手段の一部）
1 8 0	結束可動部材（配置手段の一部、第 2 手段、支持手段）
3 0 0、2 3 0 0、3 3 0 0、4 3 0 0、5 3 0 0、6 3 0 0、7 3 0 0	操作デバイス
3 1 0、2 3 1 0、3 3 1 0、4 3 1 0	傾倒装置（傾倒手段、操作手段、第 1 手段）
3 1 1 g L、3 3 1 1 g L	左側検出片（連打判別手段の一部、位置差検出手段の一部、移動向き判断手段の一部）
3 1 1 g R	右側検出片（連打判別手段の一部、終端検出手段の一部、位置差検出手段の一部、移動向き判断手段の一部）
3 1 2 a 1	操作面（操作手段の一部）
3 1 4	軸部（軸棒）
3 1 5	ねじりバネ（付勢手段）
3 2 4 L	左側検出センサ（連打判別手段の一部、位置差検出手段の一部、移動向き判断手段の一部）
3 2 4 R	右側検出センサ（連打判別手段の一部、終端検出手段の一部、位置差検出手段の一部、移動向き判断手段の一部）
3 3 0	上枠部材（収容手段の一部）
3 3 1	開口部（第 1 開口部）
3 3 2	上側軸受け部（支持部の一部）
3 4 0、5 3 4 0、6 3 4 0	駆動装置（駆動手段、第 1 駆動手段）
3 4 1	本体部材（摩擦部材の一部）
3 4 1 f	LED 装置（発光手段）
3 4 3	伝達軸棒（伝達手段の一部）
3 4 3 a	円柱部材（伝達手段の一部）
3 4 3 b	伝達ギア（駆動手段の一部、解除手段の一部）
3 4 3 b 2	クラッチ部（係合歯）
3 4 3 c	可動クラッチ（伝達手段の一部、解除手段の一部）
3 4 3 c 2	クラッチ部（係合歯）
3 4 3 d	コイルバネ（付勢手段）
3 4 4、6 3 4 4、7 3 4 4	円板カム（伝達手段の一部、終端手段の一部、解除負荷手段の一部）
3 4 4 c	係合リブ（解除負荷手段の一部）
3 4 4 d	連結ピン（凸設部）
3 4 5	アーム部材（伝達手段の一部、終端手段の一部）
3 4 6、2 3 4 6、7 3 4 6	解除部材（維持手段の一部、第 1 手段の一部、摩擦部材の一部）
3 4 7、7 3 4 7	回転爪部材（維持手段の一部、第 1 手段の一部）
3 5 2	ボイスコイルモータ（第 2 駆動手段、反発手段）
4 1 0	上側枠部材（支持締結手段）
4 5 1	スピーカー（音響手段）

4 5 3	スピーカー接続線（通過部材）
4 6 0	前側組立（第 1 手段）
4 6 4	配線通過凹部（開口部の一部）
4 6 7	通路形成リブ（屈曲手段、突設部）
4 8 0	後側組立（第 2 手段）
4 8 1 H a	補助凸部（開口部の一部）
4 8 4	配線押圧凸部（開口部の一部）
4 8 7	通路形成リブ（屈曲手段、突設部）
5 0 0	右パネルユニット（演出手段）
5 0 0 L	左重板ユニット（第 1 手段）
5 0 0 R	右重板ユニット（第 2 手段）
5 1 0	支持板部（被連結手段）
5 1 2 a	L E D（光照射手段）
5 3 1 b、5 3 1 c	支持孔（連結部の一部）
5 3 2	傾斜リブ部（当接手段）
5 4 0	導光部材（第 3 手段、導光手段）
5 5 1 b	凸設部（連結部の一部）
6 0 0	盤面支持装置（状態変化手段）
6 2 0	回転前爪部材（近接手段）
6 4 0	回転後爪部材（当接手段）
8 0 1	支持基材（ベース部材）
8 0 2	花卉（第 2 変位手段の一部）
8 0 4	中央モータ（駆動手段）
8 3 0	回転板（第 1 変位手段）
8 5 1	中央軸部材（軸手段）
8 8 0	遊嵌装置（第 3 変位手段）
2 0 6 2 c	ファール球通路（ファール球通路）
2 3 4 7	回転板部材（維持手段の一部）
2 3 4 8	スライド爪部材（維持手段の一部）
2 8 8 8	規制部（抵抗手段）
4 3 2 1 d	上側検出センサ（検出センサ）
4 3 2 1 e	下側検出センサ（検出センサ）
5 3 2 0	下枠部材（支持枠の一部）
5 3 4 4	円板カム（伝達手段の一部、終端手段の一部、解除負荷手段の一部、カム部材）
5 4 0 0	振動装置（振動手段、反発手段）
5 4 1 1	駆動モータ（低耐水部）
5 4 1 2	錘部材（振動部、反発手段の一部）
5 4 2 0	柔軟部材（支持手段、反発手段の一部）
5 4 3 0	収容部材（受け手段、反発手段の一部、支持枠の一部）
6 3 4 4 L 1、6 3 4 4 R 1	円板部材（第 1 回転部材）
6 3 4 4 L 2、6 3 4 4 R 2	リング部材（第 2 回転部材）
7 3 4 4 L 1、7 3 4 4 R 1	円板部材（伝達手段の一部、終端手段の一部）
7 3 4 4 L 3、7 3 4 4 R 3	係合部材（解除負荷手段）
8 3 2 0	下枠部材（収容手段の一部）
8 3 2 6 a	第 1 貫通孔（第 2 開口部の一部）
8 3 2 6 b	第 2 貫通孔（第 2 開口部の一部）

8 3 2 6 c	第 3 貫通孔 (第 2 開口部の一部)
9 1 4 2 a	右傾斜面 (払出球排出部の一部)
9 1 5 0、1 0 1 5 0	板金部材 (一方向妨害手段、負荷手段)
9 1 4 5 b、1 0 1 4 5 c	切り欠き (凹設部の一部)
1 0 1 4 5 d	転動板部 (規制手段)
E 1	報知装置 (検出手段)
P 1 a	変形部 (変形部)
S 5 2	終端領域 (占有領域)
S L 2	S 字経路 (折曲部)
V 1 3、V 1 4	隙間
【 手続補正 1 0 】	
【 補正対象書類名 】 明細書	
【 補正対象項目名 】 1 6 2 7	
【 補正方法 】 変更	
【 補正の内容 】	
【 1 6 2 7 】	
1 0	パチンコ機 (遊技機)
1 2	内枠 (受入手段)
1 3	遊技盤 (遊技手段)
1 4	正面枠 (閉塞手段)
1 7 8	逆カップ部 (配設手段)
1 7 8 a	壁部 (第 2 延設部)